



施設職員の負担軽減・ 人材確保に向けたロボットの活用 ～眠りSCANの実践事例～

日時

2018年10月7日 12:00～12:50

会場

第6会場 シャトレ (グランドニッコー東京 台場 B1F)

座長

パラマウントヘルスケア総合研究所 主席研究員 藤原 康人 先生

演者

湖山医療福祉グループ 代表 湖山 泰成 先生



介護人材確保対策のひとつである「介護ロボット」は、国が急ピッチで推し進めている事業であり、当グループも順次導入を進めています。そのひとつが「眠りSCAN」で、呼吸・心拍数、覚醒・睡眠、起上り・離床状態を非接触センサーによりリアルタイムで把握できます。導入した施設では、身体の変調の通知、睡眠剤の効果確認、転倒・転落対策など、高齢者の見守り支援に関する業務負担軽減とケアの質向上、人材確保に効果が見られています。現在、介護現場で効果検証が進められている介護ロボットを医療現場にも活用していくことは、職員の業務負担軽減・人材確保の一翼を担うと考えています。

整理券配布

場所：グランドニッコー東京 台場 B1F ホワイエ

日時：10月7日 8:00～ ※無くなり次第終了